

地域に親しまれる小畔川、大雨への備えは



9月議会を振り返って... かぎた有

みなさんお元気ですか。すっかり秋らしく過ごしやすい季節になりました。今年の夏は、電力不足の心配から節電が呼びかけられ、様々な節電対策や暑さ対策がおこなわれました。身近な色々な工夫が低エネルギー社会への転換につながることを期待しています。

突然の大雨にも備えて

8月には台風の影響などで大きな被害が出た地域もあります。ゲリラ豪雨など、いままでの水害対策では間に合わないことも増えてきました。



大雨の後に護岸の周りが崩れた様子

市の西部に流れる小畔川は、豊かな自然が残り、散歩をする人など多くの人たちに親しまれています。議員になってから4年余の間、南小畔川の浸透や散策路の整備など、地域に馴染み深い小畔川の課題を取り上げてきました。
この夏の大雨で北小畔川の護岸が崩れ穴があいて危険、と連絡を受けたこともあり、大雨時の水害への備えや、河川敷の草刈りの状況等を9月議会で確認しました。
市は降雨時に水位が上昇した場合、排水樋管の閉鎖などの対応をしています。河川管理は国や県が行う部分も多く、管理者の県や国との緊密な連携体制が重要です。

少人数学級の拡大を

今年度から小学校で新学習指導要領が実施され、授業時間が増えています。こどもを取り巻く状況が複雑化する一方、先生方の事務量も増えており、一人ひとりに目を配る時間がどうしても不足しています。こどもを取り巻く状況が複雑化する一方、先生方の事務量も増えており、一人ひとりに目を配る時間がどうしても不足しています。具体的なスケジュールが進んでいません。今回の議会では、国の対応を待つばかりでなく、市が先行してでも来年度は少人数学級を拡大して進めるべきと要請しました。

市民のみなさんと力を合わせて実現

雇用創出を積極的に

平成21年度から緊急雇用創出基金事業として23年度までに39事業が実施され、総額2億8430万円、新規雇用者数は263名の見込みです。
これまで日本共産党議員団の提案で緊急雇用創出基金事業を活用し、雇用を増やすよう求めてきました。9月補正予算で20事業、総額1億7270万円、新規雇用者数126名を予定しています。広報紙電子化や交通量調査などの業務をおこないます。

こどもの城を改修中 11月26日新装オープン

こどもの城が29年目を迎える老朽化。市民からはもっと魅力的な児童館にしてほしいと声が寄せられ、昨年12月議会の一般質問で取り上げました。その後、ランチタイムを設けお弁当等を食べられるようになりました。現在、改修が行われ、11月26日予定で新装オープンします。壁、床などで一部木質化（県産材使用）ウッドデッキも設置。子ども達が使いやすいように手洗い場やトイレも改修されます。



こどもの城の改修中

太陽光発電設置補助の 予算を300件分追加

年度当初に300件分（2625万円）で行われていた太陽光発電システムの設置補助が、原発の事故による計画停電などによる不安などもあり6月早々に使い切ってしまった。6月議会で党議員団が原発から自然エネルギーへの転換を求め、増額を求めたところ9月の補正予算で当初予算と同額の300件分が計上されました。



学校給食の産地を公表

9月議会の一般質問で求めていた、学校給食の調査・産地公表、きめこまかな放射能測定の要請に対して、市は10月から小中学校、公立保育園給食で使われる食材の産地公表をはじめました。学校給食については市ホームページでも確認できます。

また、10月11日からは市内にある全学校・全保育園、大規模な都市公園、ごみゼロ運動で自治会が清掃している道路側溝などの放射線測定を行い、市民の不安にこたえたと発表しました。

市民の願い実現へ建設的に提案

日本共産党議員団

日頃のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

東日本震災・東京電力福島第一原発事故から7ヶ月余、再建復興への歩みが進む一方、いまだに被災者の多くが今後の生活の見通しが持てないでいます。国の対策が遅れるなか、放射能の子どもの影響を心配する親たち、農業者や

みなさんの声を市政に

日本共産党議員団はこの間、救済地援ボランティアや救済募金に取り組むとともに、市政こんだん会を開催してみなさんの要求をお聞きし、さまざまな生活相談活動などに取り組んできました。
これらの活動を通じて出された要求をもとに、9月市議会では4人の議員団が「放射能汚染から市民のいのちと健康を守る取り組み」「震災に強いまちづくりを」「人間らしく働ける雇用を」「学校施設の大規模改造を」などの表題を掲げて一般質問し、建設的な提案でみなさんの声を市

市民アンケートにご協力を

みなさんの要望・意見を来年度予算に反映させるため「市民アンケート」用紙を折り込ませていただきました。お手数ですがFAX・郵送でも結構ですのでお届けくだされば幸いです。ぜひ、みなさんのご協力をお願いいたします。

市政こんだん会のお知らせ
とき 11月6日(日) 午前10時~12時
ところ クラッセ6階ホール
主催 日本共産党議員団

市議会報告 2011年9月

発行 日本共産党川越市議会議員団
連絡先 川越市役所内 日本共産党控室
049-224-8811 (内線3636)

リニューアルされた本丸御殿を視察



漁業者をはじめ地域で働く人たちが声をあげ、草の根の運動が社会を動かすはじけています。市内でもツイッターや呼びかけられた「原発さよならデモ」が行われるなど、身近なところでも多彩な取り組みが広がっています。

生活相談

日時：毎週火・水・金
9時30分~12時
場所：川越市役所6階
日本共産党議員団控室
相談の際は事前にご連絡下さい。
TEL：049-224-8811
内線3636

と一緒に川越市のことについて考え懇談しましょう!

日本共産党議員団は8月28日やまがき会館会議室で、市民の幅広い声、市政や地域の要望を直接聞くために市政こんだん会を開催しました。多く出されたのは、介護保険と西口ふれあい拠点施設についての質問でした。その他にも雇用、教科書問題、団体補助金削減について、交通問題などが出されました。11月の市政こんだん会にぜひお越し下さい。



写真は8月に行われた懇談会の様子